

第5回

共同利用館後継施設検討部会

議 事 録

日 時：2024年2月14日（水）午後6時開会
場 所：札幌市役所 地下1階 5号会議室

1. 開 会

○本田部会長 定刻となりましたので、第5回共同利用館後継施設検討部会を開会いたします。

本日は、後藤委員が欠席、4名の委員が参加されています。

まず、事務局からお願いいたします。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） アイヌ施策課の大屋です。

本日も、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。

資料を確認させていただきます。

皆様のお手元には、会議資料として次第のほか、ホチキス留めの第5回共同利用館後継施設検討部会資料を配布しております。

本日は、前回に引き続きまして、後継施設検討に係るサポートをお願いしております株式会社ドーコンの担当者にオブザーバー参加していただいております。必要に応じて発言させていただく場合がありますので、ご承知おきください。

本日の部会におきましては、後継施設のゾーニングについてご意見をいただきたいと考えており、皆様からの意見を踏まえまして、具体的な平面プランを検討していきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局からは、以上になります。

2. 議 事

○本田部会長 それでは、議事に入ります。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

○事務局（松下企画係長） 企画係長の松下でございます。

さきの第4回部会におきましては、現在の共同利用館の敷地と豊平区美園5条1丁目の豊園保育園跡地の2地点を候補地としてご意見をいただいたところでございます。

本日は、後継施設の整備場所として望ましいとのご意見をいただきました豊平区美園5条1丁目において後継施設を整備する場合のゾーニング案につきまして、皆様方からご意見をいただきたいと存じます。

資料をおめくりいただきまして、2ページをご覧ください。

こちらは、敷地を北東側から撮影した航空写真になっております。

ご覧いただきますと、敷地の西側に緑の多い豊平公園がありまして、さらにその奥には道立総合体育センター北海きたえーるがあり、北側に国道36号線、南側に地下鉄豊平公園駅があります。

おめくりいただきまして、3ページをご覧ください。

こちらは周辺見取り図などになっており、おおむね前回資料と同様の内容となっておりますので、説明は割愛させていただきます。

さらにおめくりいただきまして、4ページをご覧ください。

美園5条1丁目に整備する場合のゾーニングの原案、たたき台として作成したものです。

こちらの敷地は、北側が道路に接しておりまして、東側がみどり小学校、南側が温水プール、西側が温水プール駐車場の予定地となっております。

資料の灰色の実線部分が候補地の敷地区画のイメージとなっております。

こちらのたたき台では、敷地の西側、温水プール駐車場側に後継施設の駐車場を配置する案となっております。

後継施設につきましては、札幌市全域から、場合によっては市外からも利用者がいらっしゃると思いますので、ある程度の駐車場台数を確保する必要があると考えております。20台程度の駐車場を確保する場合、敷地の4割程度を駐車場で使用する形になります。

建物につきましては、敷地の東側、みどり小学校側に配置する案となっております。

赤色の矢印で道路側からの利用者の出入りを記載しており、一般玄関と通用口の2か所を想定しております。

地下鉄などの公共交通でいらっしゃる方は、主に西側の豊平公園側からいらっしゃいますので、駐車場側、地下鉄側のいずれからも入りやすい西側に一般玄関を配置しております。

また、相談などで一般玄関を利用しづらい方が利用できるよう通用口を反対側の東側に配置しております。

これまでの部会におけるご意見に基づきまして、プライバシーに配慮した動線としておりますが、このような駐車場や入口の配置についてもご意見をいただければと思います。

次に、建物のゾーニングについてでございます。

一般玄関周辺に、展示や図書が閲覧できるコーナー、また、くつろぎながら交流できる団らんコーナーとして一体で配置できればと考えております。

メインの集会機能としては、現在、南側に舞踊の練習や中規模の会議、民具の複製といった事業で利用することを想定している集会室を配置しております。また、この集会室に隣接して囲炉裏を備えた囲炉裏の間を配置してありまして、こちらの部屋で伝統儀式等の伝承などを行うことを想定しております。

現在、札幌市内では、アシリパノミ等の儀式はアイヌ文化交流センター・サッポロピリカコタンのチセで行っておりまして、後継施設の整備後も本格的な儀式はサッポロピリカコタンで行うことを想定しておりますが、後継施設でも一定の機能を備えつつ、かつ、集会室とは一体又は分離して運用できるようゾーニングしております。

囲炉裏の間は、温水プール側、南西方面への神窓の配置を想定したプランニングとなっております。

アイヌ文化交流センター・サッポロピリカコタンのチセは札幌岳の方角に向けて神窓がつくられてありまして、今回の後継施設のゾーニング案においてもそれに倣った形で神窓の配置を想定しているところでございます。

この神窓と囲炉裏の間、集会室のつながり方についても本日ご意見をいただければと考

えております。

囲炉裏の間の外には、若干の屋外活動スペースを確保する案となっております。

伝統料理等を調理する調理室につきましては、集会室に隣接して配置しております。

会議室につきましては、建物の中央部に配置をしております。集会室とは別に、小規模な会議や集会、学習会などで利用できる部屋として確保したいと考えております。

さきの部会で更衣室についてもご意見がございました。施設をできるだけ有効利用したいという観点から、更衣室単独ではなく、会議室を更衣室としても利用できるような運用ができればと考えております。

相談室につきましては通用口側に配置してありまして、一般玄関を利用しづらい方も通用口を使って出入りできるよう配置しているところでございます。

おめくりいただきまして、5ページをご覧ください。

こちらのページは、さきの部会でご覧いただきました各地の主な生活館の整備事例について、機能ごとの諸室面積をまとめた資料となっております。説明は割愛させていただきますが、参考にいただければと思います。

資料の説明は、以上でございます。

○本田部会長 主に施設ゾーニングの案についてご説明いただきました。

本日欠席の後藤委員から事前にご意見をいただいているとのことですので、事務局からお願いいたします。

○事務局（松下企画係長） 本日欠席の後藤委員から事前にメールでいただきましたご意見を代読させていただきます。

「前回の部会で本田部会長がおっしゃっていたように、囲炉裏の間と集会室は完全に分けず、小上がりにして囲炉裏を設ける形にすると儀式などを行える大きな空間として使いやすいのではないかと感じます。」とのこと。

また、「更衣室として使えるスペースを区切ることを考えなければいけないかもしれませんが、展示、図書、団らんコーナーを移動できる間仕切りなどで会議室とつなげて、地域の子どもが放課後に立ち寄れる学習の場やアイヌ語教室の場などとして広く使えるようにしてもいいのではと思います。」とのこと。

団らんコーナーと会議室を一体で使えるようにしてはどうかというご意見です。

3点目として、「和人もある程度利用する施設として運用を考えるなら、以前、検討部会以外の方からも意見をいただいた際に課題として挙げられていたアイヌの方が気兼ねすることなく訪れることができる部屋の配置にするよう考えたほうがよいと考えます。

ゾーニング構想案にあるような共用スペースとして使える展示、図書、団らんコーナーを挟んで入り口を二つ設け、相談室の前を貸し館利用の利用者がむやみに通らないようにするなどの配慮が必要かと思いました。」とのこと。

いただいている意見は、以上でございます。

○本田部会長 それでは、皆様方からもご意見を頂戴したいと思います。

何かございませんか。

○藤岡委員 神窓は南西でよいのか、確認したほうがいいのかと思います。東というところもあるので、もう一度確認したほうがよいと思います。

それから、本格的な儀式をしないの儀式とは何かと思うので、もし儀式を行うとするならば、ヌサ場とか、儀式ができるようなきちんとしたスペースとしてほしいです。

また、そういったときには祭壇が必要かと思いますが、ここは火をつけることは可能なのでしょうか。囲炉裏だから大丈夫なのですよ。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 囲炉裏で火を使用することは可能です。

○藤岡委員 ヌサ、神窓は気にしていただければと思います。

そうなりますと、このスペースはいろいろと変わってくるかなと思います。出入口は一緒とするのか、儀式をするなら窓に合わせたつくりにしてほしいと思います。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） とある方からは、その地域の近くに流れる主だった川の上流にキムンカムイがいるので、その方角に向けた神窓をつくるという話を聞きました。いずれにしても、あるべき神窓の方角についてきちんと確認します。その上で、次回の部会において具体的な図面を用意させていただきます。

○本田部会長 神窓はすごく大事です。これを後で直すのは無理なので、そこはしっかり決める必要があると考えます。札幌で儀式を執り行っていらっしゃる方々複数名にご意見を伺うべきだと思います。

確かに、川の上流でという地域はあるのですが、近くに川が流れていればその上流に向かえばいいというものでもないはずなので、その辺りはしっかりとご意見を承っておく必要があると思います。

ほかにごございませんか。

○伊藤委員 ゾーニングとは違うかもしれないのですが、儀式をやる上で、小学校が隣にあると、前の部会でも話題になったように外部の目を気にするということがあると思うので、儀式中に見られることを気にする方もいると思うのです。

もし儀式の場所がみどり小学校側になるのであれば、小学校側からの視線への配慮も必要になるのではないかと感じました。

○本田部会長 ほかにごございませんか。

○多原委員 今、儀式と窓、ヌサ場の話が出されましたが、本田部会長が言ったように、地域によって違い、東側、川の上流、山などがあるかと思います。札幌市には特にいろいろな地域から来ていらっしゃいますから、そういったことをしっかりと確認したほうがよいかと思います。

ヌサ場の後ろに建物があってもいいのか、それとも、もう少し空間があったほうがいいのかについても確認していただけたらいいかなと思います。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 伊藤委員と多原委員からのご指摘はそのとおりで、ヌサの向こう側には人が立ち入ってはいけませんし、物を持っていくこともありますので、

そこも含めて、どのような配置ができるのか、意を用いて検討します。

○本田部会長 私からも1点です。

儀式のとき、先祖供養をセットで行われると思うのですけれども、そのとき、例えば、胆振、日高の辺りでしたら、裏側から回りますよね。

○多原委員 札幌は、同じところから回っていきますね。メノコイチャルパと言われる先祖供養の場も、後ろに何も無いほうがいいのか、回っていくところが違ったほうがいいのか、その辺のこともせっかくだからしっかりと調べて検討していただけたらと私も思います。

○本田部会長 二風谷の生活館の場合は、外から回っているのです。本当は女性は男性がヌサのほうに行く動線と逆向きで行かなければならないのに、動線が分けられていないので、男性の前を女性が通ることになり、本当に嫌なのだということを地元の方がおっしゃっていたのです。どのようにしてヌサに行くかの動線を考える必要があります。二風谷の女性から出入口は絶対に二つ必要だというアドバイスをいただきました。

ここは二つあるので、うまく回っていけるならそれでいいかなと思います。ですが、できれば儀式を行っているところから物を出し入れできるようにしたほうがいいと思います。

○藤岡委員 本当にそれぞれですよ。窓からやり取りする男性たちもいるし、窓からやらないで持ち出してヌサに持っていくところもあるので、札幌は、どの人に聞いて、誰をメインに考えなければいけないのか、地方ではばらばらなので、なかなか難しいのです。

誰の考えを中心にして決めたらいいのか、とても難しい地域だなと思うのです。あちこちの儀式に参加するのですけれども、そこそこによってやり方が違うのですよ。札幌と同じやり方のところもありますし、違うところもあります。それは札幌アイヌ協会で考えるべきなのか、どうしたらいいのでしょうか。

今、中心の人がこうだと言ったら、今の中心の人の考えがここに反映されるのではないかと思うのです。ですから、代表者をどこの方にするのかを決めたほうがいいかなと思います。

○多原委員 先ほど本田部会長が言ったように、カムイノミの横を通っていくと聞きましたが、私は、今まで、札幌でずっと見ていますが、男性がそれぞれのカムイノミを終え、中に戻ってきてから先祖供養のイチャルパが始まるのです。

そういったこともありますし、藤岡委員がおっしゃったように、それぞれの地域のこともあるし、札幌で今までやってきたとおりにやればいいのかとか、もう少しいろいろな地域のこと、それから、札幌の意見、あるいは、文献にそういったものがあるとすると比較して決めたらいいかと思います。

でも、そうしますと、今、ピリカコタンでやっているものと違って来るかもしれませんので、難しいですが、これは一番大事なことです。考えていきたいと思います。

○藤岡委員 札幌にコタンがある頃の儀式の文献があれば、資料を探してみてもいいかなと思います。今、札幌は、祭司のルーツの方のやり方で祭事を行って

ますので、多分、その時々祭司によってルーツが違うからやり方も変わってくるのです。窓からのやり取りをしている時期もあれば、していない時期もあって、その時々祭司によってやり方が違うので、もし札幌もしくは石狩本来の儀式があつて、そういう資料が何点かあるのであれば、それを男性たちに聞いて決めてもらうといいのかなと感じます。

○本田部会長 ただ、多分、急いで図面を考えないといけないと思うのです。ですから、対応できるように、幾つか出入口をつくってはどうか。調理室のところに出入口があつたほうが絶対にいいと思うのです。そうすると、その出入口もある程度活用できるかもしれませんよね。幾つかのパターンを考えて、どれにも対応できるように出入口を考えていただくといいかなと思います。その上で、調べるということもすごく大事なことだと思いますので、やられたらどうでしょうか。

また、どちらに向くかによっても違うのですけれども、囲炉裏の間と集会室はやはりつなげたほうがいいだろうと思います。ただ、そのとき、囲炉裏の長辺側に神窓があるのですけれども、それが集会室のほうに延びていけば、外から何人も男性が見えたときに囲炉裏に沿って並べれますよね。この間、二風谷に行ったのですけれども、あそこは囲炉裏の長辺が玄関側に来るのです。そうすると、外からのお客様が囲炉裏のところに並ぶ際に、玄関のほうに椅子を置いて、そこに外からの来賓が並ぶことになって、本当に恥ずかしいし格好がつかないと聞きました。ここでは大きな儀式はされないとおっしゃいましたけれども、できれば囲炉裏に沿って何人も並べるようにするのがいいかなという気がします。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 資料のゾーニングは構想ということで、あくまで仮置きですので、まずは神窓の方向をどちらにすべきかを確認します。その結果によっては、囲炉裏や集会室の置き方も変わる可能性がありますので、有識者や祭司を長く務めてこられた方などから意見をいただいた上で、なるべく汎用性がある出入口を複数設ける形で案をお示ししたいと思います。

祭壇の件も、併せて確認いたします。

○本田部会長 ほかにございませんか。

○伊藤委員 この案を取り入れながらやるのは難しいかもしれないですけれども、やはり、ほかの方の目が気になるアイヌの人がいるということもあつたので、玄関から見て、集会室など、アイヌの方が活動しているところを直接見えるようにはしない、廊下から一本入ったところに集会室を入れたりして、視線が気にならないような配慮をしてもらえたらいいのかなと思います。

ただ、一番大事なのは活動するスペースだと思うので、最低限でいいと思うのですけれども、そういう配慮は必要かなと思います。

○本田部会長 ほかにございませんか。

○多原委員 調理室についてです。

一般で言う調理台やこんろ、十分な広さが重要なのです。例えば、展示室に丸太の肉切り台が置いてありますよね。アイヌが伝統的にやっていた大きな動物を調理するときに、

例えば鹿を取ったときなどに骨を叩けるよう、ああいう重さに耐えられる台がないと、一般的なただ広い薄い台だとかなり難しいので、そういったがっちりとしたものがあればと思います。

また、サケなど、大きなものをさばくときのシンクです。あまり深くても使いづらいですけれども、ちゃんと調理できるような場所もつくって、伝統的なものを使って調理することもイメージした調理場にしていきたいなと思います。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） どこかの自治体の生活館で、参考になるような調理台などがありましたでしょうか。

○多原委員 私もあまり見たことはないのですが、何年か前に、大きな食の集会をやったとき、鹿の足をいただいて、みんなで調理したのですが、そのとき、初めて大きな動物の調理の仕方を見せていただいたのです。そうすると、きちんと筋を取っていて、いや、すごいなと思ったのですが、たたいたりするとき、台が柔らかくてうまくいかなかったということがありました。

また、サケは、今のサッポロピリカコタンではシンクなどが狭いので、もう少し広ければいろいろ使いやすくだらうと思いました。

ただ、ほかの生活館の調理室をあまり見たことがないので、私も聞いてみたいと思います。どこか探していただき、参考にさせていただければと思います。

○本田部会長 二風谷の生活館は私もよく利用させていただいているのですが、調理室ですけれども、シンクのついた調理台が真ん中に三つ並んでいて、そこそこ広いです。また、そのほかに流し台があって、こんろも壁際にあります。ですから、こんろもかなりの数があり、大きいですし、これは使い勝手がいいなと思って見ていました。そこに出入口もあります。

今おっしゃっているようなことは、出入口の外のところには水を使える流し台があると結構便利なのかなと思いました。鹿を中にどんと持ってくるより、外でやるということです。それで広いシンクといいますか、コンクリートでつくるようなものがあって、そこで下処理をしたものが通用口から中に入ってくるようにできると使い勝手がいいかなという気がします。

○藤岡委員 私も二風谷のものを見たことがありますが、台がどんとありますよね。今のサッポロピリカコタンは狭いし、ガス台が三つあって、この倍の長さの台が1台しかないのですよ。それより、二風谷みたいに壁一面にシンクがあるほうが作業はしやすいです。また、大人数のものをつくるほうが多いのに、家庭用のシンクの大きさしなくて、大きな鍋でご飯を炊いたらそれを洗うときにはみ出るのです。とにかく大きい鍋なのにシンクが家庭用なので、大きくしたほうがいいと今話を聞いて私も思いました。

二風谷のものはいいかもしれませんね。阿寒のものは狭いのですが、壁側にシンクがあって、中心に台がどんとありますよね。そして、台の下に冷蔵庫があったのでしょうか。

○多原委員 ガスコンロはどうですか。今、サッポロピリカコタンには1か所に三つコンロがありますが、大きい鍋をかけると三つがふさがってしまう。大きなコンロが必要ですね。

○本田部会長 二風谷の生活館では、壁際に大きな鍋を使えるコンロが二つ、そのほかに、ご飯を炊く大きな釜が置ける台、それから、入り口の台のところにもコンロが二つあり、すごくいっぱいあります。それくらいないと使い勝手が悪いと思うのですよね。調理室は広く取っていただければと思います。

○多原委員 調理室とは関係ないかもしれませんが、例えば、それこそ二風谷の外側を見たとき、アットゥシを煮る釜が外に出たところにあつたのです。中に新たにそういうものをつくれと言うのも無理なので、外にあるといいですね。そして、釜もひっくり返すことができるようになっていたと思います。そうすると大きくても便利かなと思います。

○本田部会長 二風谷のものは、生活館ではなくて新しくできたウレシパにつくられていて、アットゥシ用の釜が二つあるのですが、あれはやはり便利ですよ。

ほかにございませんか。

○伊藤委員 今の委員の皆さんの話を聞いていると、結構大きなものも使いそうな感じが出ていますので、入り口とは別に搬入口みたいなものも必要になってくるのではないかと思います。要は、大きいものだと、駐車場からダイレクトに中に入れるということもあるかと思いますので、そういった搬入口があればいいかなというふうに各委員の話を聞いていて思いました。

○本田部会長 二風谷の生活館は集会室やホールがすごく大きいので、そこまでのものを今回つくるのかどうかです。

○藤岡委員 二風谷には舞台がついていますよね。

○本田部会長 そうですね。

ここをたくさん取ってしまうと、そのほかのところの手狭になってくるかもしれないので、何をメインとするのが大事なかなと思います。

○多原委員 今言ったことは、建物を広くしなければならぬという問題ではなくて、中の調理台やガスコンロのことで、先ほど本田部会長が言ったように、大きいものは外にあったほうがしやすいので、ひさしみたいなものをつけていただき、床面は水を流したりできるようにするといった感じですから、それほど変わらないかなと思います。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 部屋を仮置きしてみると、意外とスペースのゆとりがないということが分かってきました。だからといって、必要な機能が備えられなければ新たな施設をつくる意味もありませんので、いただいた意見をなるべく取り入れられるように調整した上で図面を案としてご用意いたします。

○本田部会長 ほかにございませんか。

今回の図面案までに今言えることは言っていたほうがいいかと思いますが、いかがでしょうか。

○多原委員 このような資料ですけれども、面積がどれだけ使えるか、予算もあるのでしようから、次回までに、どの部屋がどのくらいの平米数となるかは分かりますか。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 配置や広さなどを含めて、なるべく早く図面案を作成して共有するよう努めます。

○多原委員 よろしくをお願いします。

○本田部会長 それでは、意見が出尽くしたということでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○本田部会長 札幌市におかれましては、今回のご意見を踏まえ、具体的な検討を進めていただき、図面を次回に配付するところまで持っていただければありがたいと思います。

○藤岡委員 ちなみに、ここの土地は何㎡くらいあるのですか。

○事務局（松下企画係長） 3ページの左下に敷地の求積図という四角が書いてあるところがありますけれども、こちらの土地は東西に約48メートル、南北に約28メートルです。

まだ確定測量が終わっておりませんので仮の状態ですが、面積が1,300㎡程度となっております。今、仮置きゾーニングで20台程度の駐車場を確保しているのですが、この20台の駐車場をつくと大体600㎡を使うことになります。そうしますと、ゾーニング案の点線から右側の建物がある部分で700㎡程度ということです。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 1,300㎡は敷地としては十分だと思っていたのですが、駐車スペースを20台分確保した場合、建物に割ける面積は少なくなります。土地については境界ぎりぎりまで使える訳ではありませんので、制限が出てくる、あるいは、駐車場を配置・台数などを含めて再考するという事も含めて、改めて検討いたします。

3月13日で調整しております部会には、もしかしたらきちんとした図面をお示しできないかもしれませんが、その場合は、改めて正式なものをさらに次の部会までにお示しします。

○本田部会長 実際に使っている方々にお尋ねしたいのですが、駐車スペースは絶対に20台分必要ですか。それを10台分くらいにしておき、何かの集まりのときには近くのパーキングをご利用くださいとして、建物のほうを大きくするなど、それは判断しないといけないですね。

○藤岡委員 駐車場のためにこんなに狭くなるのはどうでしょうか。

○多原委員 でも、10台分というのは少ないですね。

○本田部会長 駐車スペースを真四角としなくてもいいですよ。ちょっと悩ましいです。思ったほど大きくないのですね。

○多原委員 図面のことはよく分かりませんが、こんなふう建物建てる場所はこちら、駐車場はこちらとしてしまうと、前後ろに止めるか、真ん中を空けて両方に止める

ということになってしまいますよね。例えば、道路側にやるとたくさん止められてこちら側を広く取れるということはないのでしょうか。

○事務局（松下企画係長） 駐車場のつくり方として、道路に面して並べる、敷地の中に車路をつくらないという方法もなくはないですが、隣が小学校であり、敷地に面する道路が通学路になりますので、車が出入りするところは限定しないとまずいということも考えますと、駐車場を敷地内にまとめて置くことになってしまうかと思います。

○多原委員 これだと、相当大きくしないと、上下で止めるとか、真ん中を空けるというようなことになってしまいますよね。

○事務局（松下企画係長） そうですね。今のこの想定だと、敷地の真ん中に車路があり、左右に車を10台ずつ止めるような配置になるかと思います。

○多原委員 いろいろと考えていただきたいと思います。

○本田部会長 そうしましたら、取りあえず、今日のご意見を伺ったということにしたいと思います。次回までにいろいろと考えてきていただき、ご意見を出していただければと思います。

3. その他

○本田部会長 それでは、ご質問、ご発言、お知らせなどがあればこの機会にとと思いますが、何かありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○本田部会長 それでは、最後に事務局からお願いいたします。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 本日は、たくさんの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

次回の部会は、3月13日を予定しております。

なるべく早く、施設の平面図を作成して共有させていただきたいと考えておりましたが、本日の部会におけるご意見を踏まえて見通せない部分も出てまいりました。本田部会長にご相談させていただいた上で次回の部会を開催させていただきますので、ご理解と引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

それから、前回にも申し上げましたが、3月下旬にはアイヌ施策推進委員会の開催を予定しておりまして、この部会の検討状況につきまして本田部会長からご報告いただくことを考えております。

来年度につきましては、基本計画という形で後継施設をどう整備していくのかを固める年になりますので、よろしくお願いいたします。

その上で、令和7年度から設計を行い、9年度には施設整備に着手する想定です。10年度中には供用を開始するスケジュールとなりますので、ご承知おきください。

4. 閉 会

○本田部会長 以上で、本日の部会を終了します。
ありがとうございました。

以 上